



## 純米化主義の幼稚園

在留同胞之其教育方針

著者足下、子は日本人問題につ  
いて、國が我等に市民なるべく  
るものぞ求めつゝあるか  
を頗る光榮とします。勿論子  
に考へ先づ精神的に米化

此問題を國際的に又は世界的論議するの資格はない、唯予一移民なるが故に移民の立場を熱心に努力せねばならぬ。曾ニニコデモがイエスに「國に入れる道を質せる」と問うた。

如何に權威ある語ではなく、  
若し我等が米國市民たらば  
問題の解決は全く州内の市民

せば我等は我等の古い關心を失ふことはない。されば他に方法なきことを確くの一切を發揮して吾等の心を解きと同情と調和とに依るにあら好ましからぬ思想や習俗を改めようとするのである。

するからである。  
「予は州内に定住せんことを  
思ひの上に星條の旗を振  
米國の精神と精華を追ひ  
ものとならむばならぬ。」

い。此國が同化し難き多數の、民の爲めに如何に煩惱されつゝあるかを徹底的に承知し此まならば余は自分ハリゲン

## 中加四個日本人會の

# 地方銀行取引決議

# 金を日本に送る事廢さねばならぬ 驚 津

中加四個團體本人會是去的十  
同地に於いて代表者會を開  
業に根底を與へ特に農業

日本人會から分離して獨立の姿として行動すべく決議した。更に進んで土地を買ひ、

である。地方在住の日本人其地方の實益を基礎として自立の精神を發揮し、同胞の安全なる家庭を築やうに奔走する者は一割以上のことを設ける。

成績向上を計らんとする事に喜  
き現象である

日本に植するは、在留日本人は  
接の地方銀行と取引を爲すは  
經濟的發展の根本義なると白人  
が主張する。然るに、日本は  
は日本國の爲めにも本  
めにも憂ふべきことであ  
る。

板を取除くの決議である私は  
本人預送金に關し久しき以前  
憂ひを抱き居る一人である

鄉の念に伴ふ弊害は第一其の如き該議決に基き此機會に於て早見を述べて見たい。中加四個月會の決議は蓋し在する國士の文化事業に貢献するの念が起らない。

日本人大多数の言はんとする  
と表明せるものであらう特に  
君水住の決心堅き同胞には至  
農業工業の如き長期に亘  
功する事業が發達し乍  
して年々若干儲け得たるふ

國の資本とならぬして本邦の叫びと云はねばならぬ  
抑も日本人が米國に渡つた動  
諸外國の資本となり地方  
感を買ふの原因となる  
人によつて其事情を異にする

は勿論であるが其大多数は一出稼の者を以て渡つたもので、然るに渡米後數年乃至十数年も日本人が此國に儲れども日本人が此國に儲

半を此國に費したる経験の結果大部分本國に預送金しては、一時出稼の考を以ては何事産業の資本を枯らすことは無効しないといふ自覺が起り、排斥の理由としては最も

的乃至永久的に諸般の施設する必要を感じるに至つたる理由である。米国人は、的徹底してゐるだけ此生

# 紐育日本協會招宴

## 加藤全權の演説

華府會議は大成功を納めた

日本に野心無さを知らしむ

▼ 日米戦の妖雲去る  
紐育本社通信員發信(十五日)

招待會に出席一千名

當國教育局米協會の招待に應じて、加藤全權の事は本邦教育局主催の如くなるが、加藤全權は日本語で話すが、加藤は野村副官、南橋通譯で、日本語は全く通じない。

アスターに向ひ少憲の後日米協

會主催の招待會に出席一千名

の會衆に就し大喜びの演説を試みられた。加藤全權は日本語の如くなるが、加藤は野村副官、南橋通譯で、日本語は全く通じない。

百萬本

寒さに凍る

方レンチ

日本

幸運

日本

甘五仙下落

日本爲替

四十弗ごなる

守るに止ま

日本は

正解し

日本は





フレスノ (二)

都合上出勤不可能なる爲め本日  
役員会を開き其代表者を走むる  
等なり。

だから出来ないと見越して補  
助金位でけりがついてるものであ  
るものではなく(日會)しては在  
る、その補助金の性質は二つな  
いものである。

三つの學園の内情をか確かな  
に努力してくれる學園當事者  
行いがよく知つてゐる。支那す  
る由。

改選をなし會計制度の改革、學  
園問題等につき御議論し明き續り  
結果會館を新ホールに移転し開  
業した。

●島内氏來市 本社布市支社主  
任、内氏は本日四個會代表者  
に出席、同夜十一時歸布の途に  
つきた。

●バイセリア (六日)

●アラレ郡年會 去る十五日  
午後二時より梅山日本人ホール  
にて開催され、午後七時半終了。  
午後七時半分會長田中正一氏が  
ホルにて。

●ハリスビル (六日)

●新築開店廣告 私共在中州一方なら御  
用意いたる所にて御用意いたる所にて  
お申込み下さい。

●南加日本病院 無州タウンノ北澤商會  
ゼイツワブロス KITAZAWA BROS.  
191 Jackson St., San Jose, Cal.

●モニタ原酒造店 Tel. 15427, 605 Turner St., L.A.

●モニタ原酒造店 Tel. 13911.

●モニタ原酒造店 Tel. 764 F St., Fresno, Calif.

●モニタ原酒造店 Tel. 13911.



其卅四  
空翻る人

からさつさと上つて、女中のあ  
くについて行つた。無論夫人も  
それに續いた。  
長い廊下を急曲りかして行く  
うちに、ふと向ふから浴衣かけの  
で、手拭をぶら下げながら湯舟  
の艶々とした姿をして、こちへ  
に来かるる若い男を、村上感見は  
たことのある人のやうに思つて  
誰だか考へてゐるうちに、  
「やあ、村上さん」  
と、向ふから聲をかけた。  
その聲に村上より夫人の方へが  
驚いて顔を上げて、「それ  
がいけない和島で、夫人がそれ  
を氣が付けて、和島夫人の姿  
を見付けて、サツと顔色を變へ  
たな。」  
「いや、内村君夫婦隨伴して  
しました。一人ですか？」  
「え、和島君でしたね、失敬  
しました。」  
「云つて、和島は夫人の方  
に向ひながら、



(日曜日) 二廿一年五月廿日正俗  
熱海から二時開船、乗心地の悪い黒臭い煤煙を吹く輕便道に揺られて、煙の中や猿の山の麓や、それから海岸の上を絶えず、小田原へ着いた。南夫人と村上は、驛前にたつて、一臺残つてゐる自動車を呼んで塔の澤へ走らした。  
車が湯本の町を過ぎて、塔の澤に近づくと、「あなた、何處かい？宿屋を知つて？私はいつも環状線へ行くんだけれど、今日は何處か外にしませうよ」と、云ふ夫人の言葉に、「僕は昔、福住さくふ家に一度泊つたことがあります、そこへ行きました」、「ひう、誰か知つてゐる人に會ふいやだけれど、まあ仕方がないわ」  
「では、何れ後程」

|   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 新潟米農のてつへんに雪の<br>眼を一寸の機知ばれぬのに長<br>く手作の酒で懶を増し、<br>年始酒バのミルクと子供 | 元日手作の酒で懶を増し、<br>年始酒バのミルクと子供        |
| 川 佐市 平安   | 川 佐市 平安                            |
| 天網はカイ／＼粗にじも漏<br>六割じや結が悪いと修正<br>一口話                          | 天網はカイ／＼粗にじも漏<br>六割じや結が悪いと修正<br>一口話 |
| 「サンマラオの説教逃走組<br>もう／＼分ったな」                                   | 「サンマラオの説教逃走組<br>もう／＼分ったな」          |
| 乙 分る事は幾つてラア   | 乙 分る事は幾つてラア                        |
| 甲 ナゼ  | 甲 ナゼ                               |
| 「簡イ鉛お附いて歩るいて<br>も誰たつて分らア」                                   | 「簡イ鉛お附いて歩るいて<br>も誰たつて分らア」          |
| 狂歌 悪羅   | 狂歌 悪羅                              |
| ○香鳥と神の御守宇に立ち<br>かゞ今安らかに逢窓の夢                                 | ○香鳥と神の御守宇に立ち<br>かゞ今安らかに逢窓の夢        |
| ○かゞ見て包みされざる微<br>は加藤徳川想外の出来                                  | ○かゞ見て包みされざる微<br>は加藤徳川想外の出来         |

て丁つても此の岩盤に亘本さ  
あれば何時で高麗へ登つて  
が喰へる所へへからだぞ物  
つた。斯うして越山は  
△今も昔の 苦勞を忘れぞ  
と云ふことを 真実があると其懲  
ひかされて命を終ふ事が居るので  
財産一切備へす今も手煩り火  
一つの幅狭な世帯を張つてゐ  
辯護士志望で國士館を九州か  
頼つて上京した中村も二十九  
の考書生となつて今も越山の  
に寄食してゐる。(終)

「荷物は何にないんだから迷うも怪我ねえ様に早く避難しよ」と女房に云ひ置いて其儘方へか逃げて丁つた、駄の据た女房が身の廻りの品物を寄集めて湖つた墓の廣原へ避難した時越山の家の事だ。

水に燃られた一家が暮日も絶ない裡に火と祟られるとは何云ふ縁結だらう。どうせこれが災難があるのを順が逆が消防夫も樂だつたらうのにで供と包みを抱へた女房が焼けちる家根木と眺めて長息してゐる時主の越山が黒紋装の羽織に講義の臺本を持て女房が引續く災難に此れや度氣が變つたに違ひないとへた相だが越山は氣が狂つた。でも何んでもなく傍へ家が焼

|             |    |   |   |   |   |   |   |
|-------------|----|---|---|---|---|---|---|
| 六泊・降        | 云々 | 房 | は | 居 | 笑 | 一 | 六 |
| 意           | 隨  |   |   |   |   |   |   |
| 桑港公齒科醫師     |    |   |   |   |   |   |   |
| 桑港グリード街一五二六 |    |   |   |   |   |   |   |
| 桑港グリード街一七七六 |    |   |   |   |   |   |   |
| 桑港グリード街一五二六 |    |   |   |   |   |   |   |
| 桑港グリード街一七七六 |    |   |   |   |   |   |   |
| 秀           |    |   |   |   |   |   |   |
| 林           |    |   |   |   |   |   |   |
| 田           |    |   |   |   |   |   |   |
| 中敏太         |    |   |   |   |   |   |   |
| 榮           |    |   |   |   |   |   |   |
| 小川          |    |   |   |   |   |   |   |
| 榮           |    |   |   |   |   |   |   |
| 山本辰         |    |   |   |   |   |   |   |
| 藤田省         |    |   |   |   |   |   |   |
| 大           |    |   |   |   |   |   |   |
| 益           |    |   |   |   |   |   |   |

伊津野醫院  
北河醫院  
桑原ブキヤナン街一五二  
住宅ヨエヌ七五一九  
1694 Post St. S.  
カナダセトウ一六九四  
スランボード醫科大學出島  
ドクトルオーブン・マグゼン  
北河慶次郎  
電治斐イタマア五二八八  
加藤醫科大學出島  
ドクター・マツエラ  
全  
如水大學生出島  
所内小兒科  
外科婦人科  
桶田慶通  
桑原モース街一七二三  
住居電話フキナホセトウ九二七八  
産婦人科、内外科、小兒科  
内科、耳鼻喉眼科、皮膚科  
入科  
院  
安都定  
喜安都定  
十

ヨコハマ公認醫師會  
内、外、小兒科  
産科、婦人科  
眼科、皮膚科  
歯科、舌瘻科  
麻酔科  
電気、手術  
藤森直和  
新宿本店  
東京本店  
帝國病院  
井木繁喜  
1631 Post St., S. F.  
F. S. S. F.

日本ドラッグストア  
NIPPON DRUG CO.  
1999 Post St., San Francisco

# 松原大作見いの見

院子をなす L. A. ブル

# 特に

る所の食料品店に  
ります

非「御買求下さい」

州イーストサンビードロ港

羅府海產罐詰株式會社

いそれご直ぐ間に合ふしかもたいしい

TEMPURA  
FRIED FISH CAKES

ラブンテ

DACKED BY  
L.A. SEA FOOD BACKING CO.  
EAST SAN PEDRO, CAL.  
U.S.A.

## L. A. Sea Food Packing Co.

## **East San Pedro, California**